

---

# 岐阜県立中津川工業高等学校

校長 堀 秀樹

学校が住所 中津川市千旦林1521-3 電話 0573-68-2115

---

- 1 会議名 中津川工業高等学校運営協議会（兼学校活性化推進協議会（第1回））
- 2 開催日時 令和元年7月8日（月）9:30～11:30
- 3 開催場所 中津川工業高等学校仰星会館第1研修室
- 4 参加者
- |        |       |                |
|--------|-------|----------------|
| 委員     | 大井 久司 | 中津川市副市長        |
|        | 尾関里恵子 | デンソーテン中津川製作所   |
|        | 小野 真人 | 坂本中学校長         |
|        | 勝 一也  | PTA会長          |
|        | 加藤 早苗 | 大同キャスティングス     |
|        | 楯 明夫  | 坂本小学校長         |
|        | 沼田 麻衣 | 美濃工業           |
|        | 萩本 倫治 | 同窓会 幹事         |
|        | 平岩 正光 | 岐阜県議会議員        |
|        | 牧野なゆみ | 坂本幼稚園長         |
|        | 松井 進  | 同窓会長           |
|        | 丸山 優  | 坂本区長           |
| 学校側    | 堀 秀樹  | 校長             |
|        | 伊藤 昭嘉 | 教頭             |
|        | 中山 栄幸 | 事務長            |
|        | 藤浪 元明 | 教務主任           |
|        | 水谷健太郎 | 生徒指導部長         |
|        | 山田 豪  | 進路指導部長         |
|        | 後藤 昭博 | 工業部長           |
| 県教育委員会 | 高橋 宗彦 | 岐阜県教育委員会 教育総務課 |
|        | 野口 晃弘 | 岐阜県教育委員会 学校支援課 |
- （敬称略 五十音順）

## 5 会議の概要（協議事項）

### （1）開会挨拶 学校長

会の目的として、本校は県教育委員会より少子化問題と地域課題において、地域と高校が主体的に関わり、活力ある高校づくりを推進する研究指定を受けています。そのために本日お集まりいただいた皆様より、ご意見やご指導をいただきたいと思っております。

本校は今年度で75周年を迎え、美乃坂本に校舎が移転してから現在まで55年経過しております。その間、1学年4学科はずっと変わらず、全校あわせて12クラスの規模を保ち続け

ております。東濃地区全体で少子化が進む中、学校規模を維持し続けてこられたのはなぜかと申しますと、工業団地内をはじめとする地元優良企業様とのつながりがあり、それに対する本校からの就職者が多いことがあげられます。昨年度は有効求人倍率が9倍、今年度はそれを上回る勢いであり、中津川工業高校は地元になくてはならない人材の輩出をしていることが大きな理由となります。また、昨年度からの地域連携事業の成果として、入学定員は満たすことができておりませんが、前年度145名の入学から、今年度は151名の入学生を迎えることができました。これも皆様や地域からのご協力のおかげであります。中学校の生徒数が減少する中で、入学者を集めるのに大変苦労しますが、就職先は非常に良く、人口が減っているご時世ではありますが、地元に残り活躍する生徒を輩出する貴重な学校であると認識しております。本日は本校の説明や見学を通して、ご意見やご指導をいただくと大変ありがたいです。

## (2) 挨拶

### 県議会議員

中津川工業高校に対して、先程の校長先生のお話と全く同じ評価をしている。中津川市、恵那市を中心とした地元に対してたくさんの人材を輩出していただき、お互いが非常に良い関係を築けている。特に県外への人材の流出が多くなる中で、地元企業と地域からの支援が今後も大切である。学校としては昔から変わらず4つの学科が地元に対して素晴らしい貢献をしている。同窓会の協力のもと学校シンボルである若い力の像が新しくなり、今以上に中津川工業高校に大きく飛躍をしてもらいたい。リニア関連については、千数百名の雇用がどこまで中津川工業に関係するのか不透明であるが、直接でなくても県内に、地元には波及効果があるはずである。よってさらに4つの学科の活躍を期待し、少子化である中、多くの地元就職者を輩出して欲しい。昨年より中津川工業高校の生徒が頑張っている姿をたくさん見てきた。生徒のために速やかにエアコンも教室に配備され、教育委員会には感謝申し上げたい。特別教室にも同様の設備をお願いしたい。また、中庭の舗装についても併せてお願い申し上げたい。今後とも皆様のご協力の中津川工業高校を盛り上げていきたい。

## (3) 自己紹介（最後に協議・意見と合わせて）

#### (4) 資料説明

##### 教頭

- ・ P 2 主な役割について、本日の会において皆様よりご意見をいただきたい。
- ・ P 1 3 昨年度の県外高等学校の視察と発表内容について。
- ・ P 1 2 前年度の総括として①～⑥の改善点と継続課題について。

##### 教務主任

- ・ P 3 入学者と進路状況について、地元就職約80%
- ・ P 4 女子生徒の入学者が増えている。現在43名で過去最高。
- ・ P 5 少人数授業により基礎科目の充実。工業系部活動の地域貢献と建設工学部のテクノボランティア、吹奏楽部の地元貢献について。

##### 工業部長

- ・ P 7 入学動機調査結果について、就職に有利である50%、部活動で頑張りたい生徒が増えている。
- ・ P 9 先輩との上下関係を不安に思う生徒が減ってきている。
- ・ P 1 0 アンケートにより、入学生が1日体験入学で良い印象をもって入学を決めていることがわかる。また、入学後の人間関係について不安をもっている生徒が多いため、今後の課題としていきたい。

#### (5) 授業参観及び施設見学（10：05～10：40）

#### (6) 議題

- ・ 協議・意見交換

##### 意見①

2027年のリニア開業に合わせてリニアを活用した街作りやリニア駅周辺の整備、中心市街地の活性化、中津川市全体の活性化について子どもたちに関してどういった取り組みをするか、リニアに関しての活動などが工業高校にあれば多くの生徒を集めることに繋がるのではと思う。必ずしも鉄道関連の会社への就職へ繋がるかはわからないが、鉄道関連の学科などがある

ればリニアの効果を活かすこともできる。

#### 意見②

真面目に授業を受けている生徒が多い。授業の一環で幼稚園にも来てもらっているありがたい。幼稚園実習では子供の目線に立って遊んでくれている。身近にいるお兄さんお姉さんと子供たちが接する機会があるのはいいことなのでまたお願いしたい。

#### 意見③

一時よりも真面目な生徒が増えたが、その分インパクトのある生徒は減った。昔のように元気な生徒が減った分、生徒自身の勢いもなくなったように感じる。学力の低さか、「工業でこれがやりたい」という意思の低さが表れているため、そう感じるのかもしれない。昔は生徒指導的な問題もあったがそれもなく、ただおとなしい生徒が目立つ。部活動でも何でもいいから魅力的なものがあれば、工業に行きたいと思ひ、定員数を超すような募集に繋がるかもしれない。

#### 意見④

生徒は真面目に取り組んでいる。コミュニケーションがしっかり取れる生徒であってほしい。女の子がもっと入学できるようになると嬉しい。

#### 意見⑤

「自分で考えて動ける」人材を育ててほしい。受け身の新入社員が多いので、積極的にいろいろやろうとする人材が入ってくるだけで会社の雰囲気も変わってくる。

#### 意見⑥

中津川工業から来たどの生徒（社員）もしっかりとあいさつが出来る。大卒と高卒と同時に社員研修を行うが、大卒は自由な発想などができるが、上下関係に関しては、高卒は厳しい雰囲気のまま卒業して入社してくることもあり、高卒の方がしっかりとできている。

明るい表情をしている子が多く、暗い顔をしている生徒は見られなかった。授業の様子を見ると、寝ている生徒もおらず楽しそうに授業を受けている。教員も手、体、頭を使うように工夫している。にぎわいプラザなどで企業説明会のようなことも行ったりしているので高校生も気軽にそういう場所へ足を運んでもらいたい。

#### 意見⑦

元気な生徒がいない。昔は元気な生徒が多く、会社に入ってきてもそういった生徒がリーダー格になっていくが多かった。多少なりとも元気な生徒がいた方がいいのかとも思った。無理に元気な生徒を育てろというわけではない。

学校にあこがれる何か魅力を作ってほしい。リニアに関する何かをベースにアピールポイントという話もあったが、ぜひ中津川工業に行きたい！という声が聴けるように頑張ってもらいたい。

#### 意見⑧

学力は下がってきていると思うが、学力よりも個性を活かした何かをやっていってもらえたらと思う。人間としてやれることをやっていくという気持ちが育ってくれればいいのかと思う。

#### 意見⑨

あいさつがしっかりとできている。校内で礼儀などを厳しく指導することで社会に対応できる人材になると思う。女の子がもっと入りやすい学校にする。トイレをきれいにする、更衣室をきれいにするとか。もっと女の子を入れて華のある学校にできたら。女の子も工業の授業で頑張っていてすごいと感じた。

#### 意見⑩

工業のいいところはあいさつが出来ること、たくましさや男らしさ、そういった良いところは残してほしい。工業が厳しすぎるというが、厳しさを無くすと社会に出てからすぐに折れてしまうような軟弱になってしまう。自分でやらないといけないことをやり、挨拶をしっかりとやり、嫌なことがあっても我慢できる、そういうのは工業や商業の強みだと思う。

中3の担任が若く、進路のアドバイスをするには、経験が足りない。加えて中学校教員の99%が普通科高校出身者なので専門高校の知識が無い。そのため中学校教員に対する学校説明会や教員同士の中高連携活動などを行って専門科高校の良さを理解してもらってはどうか。そうすれば進路で悩んでいる生徒にも担任からアドバイスがしやすくなる。他校はそのようなことを行っており、近場（坂本中）なので工業さんにもそういうことをやっていただけたらと思う。

#### 意見⑪

どこの管轄かわからない土地（私有地？）が学校前（正門近く）にあり、その土地の多くの木を伐採して眺めがよくなれば、リニアが通る坂本駅を学校から見ることができ、学校として大きな広報になるのではないかと思う。昔は学校から坂本駅を見ることができた。

## 6 会議のまとめ

・第2回学校運営協議会は11月、また第3回学校運営協議会、第2回学校活性化推進協議会は1～2月頃予定している。さらに本校の様子をいろいろ見ていただき、学校活性化や学校運営に関して多くのご意見を伺いたい。この協議会でいただいたご意見を参考にして、評価していただいたところは継続し、課題については学校全体の問題としてとらえ対処していきたいと思う。